14 東京医科大学茨城医療センター

病院の概要

開設	1948 年
開設者	学校法人 東京医科大学
院長名	柳田　国夫
病床数	445床（許可病床）、398 床（稼働病床数）
標榜科（26科）	内科、呼吸器内科、消化器内科、代謝内分泌内科、腎臓内科、循環器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科
医師数	127人
指導医数	62人
研修医数	19人
研修医の主な出身大学	東京医科大学　他
外来患者数	729.4人／日
入院患者数	324.7人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準、B水準、連携B水準（2026年4月現在） ※臨床研修医はA水準（年間960時間上限）となります

応募・問合せ先

東京医科大学茨城医療センター

〒 300-0395　茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1
担当者：卒後臨床研修センター　事務局
ＴＥＬ：０２９－８８７－１１６１（代表）
ＦＡＸ：０２９－８８７－１３５５
E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp
ＵＲＬ：https://ksm.tokyo-med.ac.jp/sotsugo/

募集要項

応募資格	原則として第 121回医師国家試験を受験する者、あるいは医師国家試験に合格し、新たに臨床研修を行う者
採用人数	10 名（予定）
試験日程	（予定）2026年8月
選考方法	（予定）筆記試験（医学）、面接
処遇	■身　分：常勤医師 ■給　与：1年次基本給30万円　その他諸手当等を含む年収約470万円（時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給30万円　その他諸手当等を含む年収約490万円（時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：東京医科大学健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険 ■宿　舎：有り（単身用・世帯用）

■電車をご利用の場合車
ＪＲ常磐線　土浦駅よりバス　15 分
ＪＲ常磐線　荒川沖駅よりバス 15 分

■車（常磐自動車道）をご利用の場合
桜土浦インターより6km

病院見学対応状況

■ 見学時間…随時（平日）
■ 対象…全学年
■ 宿泊…研修医宿舎に宿泊可能（無料・要確認）
■ 問い合わせ先
担当者：卒後臨床研修センター 事務局
TEL：029-887-1161（代表）
E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp

育児支援等

■ グランドカンファレンス・症例検討会の参加率基準の免除
■ 院内保育所（ひまわり）の完備
■ メンター制度と卒後臨床研修センターの充実したサポート体制
■ 臨床研修中に出産育児を行った研修医２名実績あり

研修プログラムの特色

※2026年度プログラムについては、現在、検討中です。プログラムが確定次第、当センターホームページに掲載いたします。

1.少数精鋭のプログラム
研修医の募集定員は、１学年 10 名（予定）です。当センターの病床数、指導医数から考えると少ないかもしれません。しかしこの定員だからこそ、温かい雰囲気の中できめ細やかな寺子屋式指導が可能です。

2.基本的初期診療の修得
豊富な症例数の下、スーパーローテーション方式で主要科を研修します。また２年間の研修期間を通じ ER 当直を行い、実践的プライマリ・ケアの修得が可能です。

3.一人ひとりのキャリア形成に則した研修
２年次には幅広い選択肢を用意しており、キャリア形成を意識したローテーションを選択できます。

4.屋根瓦式教育体制
豊富な指導医の下、専攻医が臨床研修医を、臨床研修医２年次が１年次を、臨床研修医が１年間を通して実習している医学生に指導する屋根瓦式教育体制を実施しています。「教えることは、学ぶこと」を日頃から実践して、臨床能力を高めることが可能です。

5.充実したサポート体制
生き生きとした研修生活を送れるよう、卒後臨床研修センターが全面的にバックアップします。研修医一人ひとりにメンターが付き、相談役として研修生活とキャリア形成をサポートします。

研修スケジュール例

【基本】ローテーションイメージ
救急：院内　１年次２か月+2 年次 1 か月　※研修時期は異なります

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
１年次	内科	内科	外科	選択	麻酔	救急（院内）	外科	小児	産婦人科	選択	内科	内科
	必修	必修	必修	選択	必修	必修	必修	必修	必修	選択	必修	必修
２年次	精神	地域医療	救急（院内）	選択	選択	選択	選択	内科	内科	選択	選択	選択
	必修	必修	必修	選択	選択	選択	選択	必修	必修	選択	選択	選択

※原則として 2 年次に地域医療を研修すること。
※原則として、内科においては 24 週以上、救急部門においては 12 週以上、外科 8 週以上、小児科、産婦人科、精神科及び地域医療においてはそれぞれ 4 週以上の研修を行うこと。

内　　科：呼吸器、消化器、循環器、腎臓、代謝内分泌、脳神経、総合診療
外　　科：呼吸器、消化器、脳神経、整形、泌尿器、乳腺
救　　急：当院、筑波メディカルセンター病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター
小 児 科：当院、東京医科大学病院、土浦協同病院（2か月）、日立総合病院
産婦人科：当院、筑波大学附属病院（2か月）、日立総合病院
精 神 科：宮本病院
地域医療：北茨城市民病院、土浦ベリルクリニック、あみ東クリニック　等
選択科目：当院、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、茨城県立中央病院、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、ひたちなか総合病院、筑波記念病院、牛久愛和総合病院（以上9施設は全科）、茨城県立医療大学付属病院、土浦協同病院、宮本病院　等

専門研修の募集について

※詳細は当センター ホームページをご覧ください

募集診療科				選考方法
◆基幹施設				書類選考 面接
・内科専門医プログラム	定員５名（予定）	・病院総合診療専門医プログラム	定員１名（予定）	
・皮膚科研修プログラム	定員２名（予定）	・新・家庭医療専門研修単独プログラム	定員１名（予定）	
・麻酔科専門研修プログラム	定員２名（予定）	・総合診療専門医、新・家庭医療専門研修連動プログラム	定員１名（予定）	
・眼科専門研修プログラム	定員１名（予定）			
・総合診療専門医プログラム	定員12名（予定）	・病院総合医プログラム	定員２名（予定）	
・放射線科専門研修プログラム	定員２名（予定）			

◆連携施設
16の基本領域についても、連携施設として専攻医の受入れを行います。
内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、病理診断科、救急科、形成外科、皮膚科、整形外科、小児科、放射線科、精神科、眼科、脳神経外科、麻酔科

研修・認定施設一覧

・日本内科学会	認定施設/認定医制度教育病院
・日本外科学会	修練施設/専門医制度修練施設
・日本がん治療学会	暫定認定施設
・日本がん治療認定医機構	認定研修施設
・日本臨床腫瘍学会	認定研修施設
・日本神経学会	教育施設
・日本精神神経学会	認定施設
・日本老年精神医学会	認定施設
・日本認知症学会	教育施設
・日本内分泌学会	認定教育施設
・日本脳神経外科学会	認定施設
・日本脳卒中学会	認定施設／認定研修教育病院／一次脳卒中センター
・日本呼吸器学会	認定施設
・日本プライマリケア学会	研修認定施設
・日本アレルギー学会	アレルギー専門医教育研修施設
・呼吸器外科専門医合同委員会（旧本呼吸器外科学会、日本胸部外科学会）	基幹施設
・日本内視鏡学会	指導施設
・日本気管食道科学会	専門医研修施設
・日本循環器学会	専門医研修施設
・日本心血管インターベンション治療学会	研修関連施設
・日本消化器外科学会	専門医修練施設
・日本消化器病学会	認定施設
・日本消化器内視鏡学会	指導施設
・日本消化器集団検診学会	認定指導施設
・日本肝胆膵外科学会	高度技術専門医修練施設
・日本膵臓学会	指導施設
・日本大腸肛門病学会	認定施設
・日本胆道学会	指導施設
・日本肝臓学会	認定施設
・日本胃癌学会	認定施設B
・日本炎症性腸疾患学会	指導施設
・日本糖尿病学会	教育施設
・日本腎臓学会	認定施設/研修認定施設
・日本透析医学会	認定施設
・日本アフェレシス学会	認定施設
・日本整形外科学会	専門医研修施設
・日本形成外科学会	認定施設
・日本手外科学会	研修施設
・日本産婦人科学会	専攻医指導施設
・日本婦人科腫瘍学会	専門医制度指定修練施設
・日本眼科学会	研修施設
・日本耳鼻咽喉科学会	専門医研修施設
・日本鼻科学会	鼻科手術認可研修施設
・日本泌尿器科学会	専門医教育認定施設
・日本乳癌学会	認定施設
・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	認定施設
・日本感染症学会	研修施設
・日本皮膚科学会	専門医研修施設
・日本病理学会	研修登録施設
・日本臨床細胞学会	教育研修施設
・日本救急医学会	専門医指定施設
・日本腹部救急医学会	腹部救急認定医・教育医制度認定施設
・日本医学放射線学会	専門医修練機関
・日本麻酔科学会	認定施設・指導病院
・日本集中治療医学会	専門医研修施設
・日本急性血液浄化学会	認定指定施設
・日本睡眠学会	認定施設
・日本口腔外科学会	認定研修施設
・日本顎顔面インプラント学会	研修施設
・日本顎関節学会	顎関節症専門医研修施設
・日本有病者歯科医療学会	研修施設
・感染症の予防の髪似症に係る医療機関	承諾施設
・認定輸血検査技師制度	指定認定施設
・認定臨床微生物検査技師制度協議会	研修施設
・日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会	エキスパンダー実施施設
・日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会	インプラント実施施設

病院からメッセージ

研修責任者
屋良　昭一郎　卒後臨床研修センター長

東京医科大学茨城医療センターは病院全体で研修医の教育に取り組みます。当院は二次救急医療機関であるため、多発外傷や重症熱傷などの症例は少ないですが、common diseases の臨床経験を積み上げるには最良の環境です。2 年間を通して救急外来の診療があり、病歴聴取、身体診察をはじめ、各種検査を自らの判断で遂行することによって骨太の臨床力が身に付きます。またそれらをサポートする先輩研修医と指導医の熱意、看護師、コメディカルの協力体制は当院が誇るものです。2 年という短い時間に集中して力を付けることのできる当院の研修は自信をもって勧められるものです。ぜひ一度見学にいらしてください。

研修医
小西　宏太

当初は研修医としてどこまで任せてもらえるのか、またこの大学出身ではないことから不安もありました。しかし、実際に研修を始めてみると、当院の魅力は「雰囲気の良さ」に尽きると感じています。上級医や医療スタッフとの距離が近く、日常的に相談しやすいため、過度に緊張することなく安心して診療に向き合うことができます。また、様々な大学出身の研修医や指導医が在籍しており、多様な考え方や視点に触れられる点も魅力です。指導医のサポートの下、主体的に診療や手技に関わる機会も多く、温かい環境の中で着実に成長できる研修先だと思います。ぜひ一度見学に来てこの雰囲気を実際に感じてみてください。